

かすみがうら市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画の策定に向けたかすみがうら市まちづくりアンケート調査《結果概要》

- ## I. 調査概要
- ・市内在住の18歳以上の男女3,000名を対象に実施。
 - ・調査期間は平成30年11月19日～12月3日、有効回収票は1,215票（40.5%）

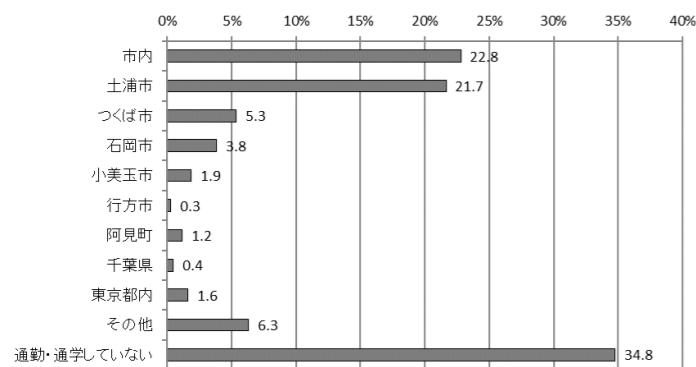
II. 調査結果

(1) 日常生活・行動

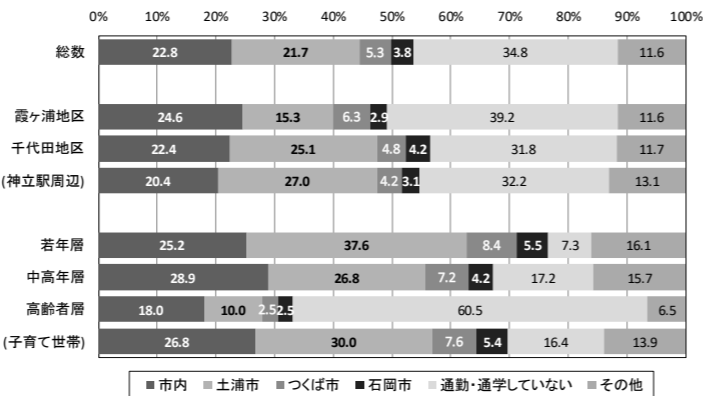
通勤・通学先

- 通勤・通学先は「市内」22.8%、「土浦市」21.7%で、交通手段は「自家用車」が8割を超えている。
- 特に、神立駅周辺居住者や若年層において、土浦市への通勤・通学が多くなっている。

■通勤・通学先（単純集計）



■通勤・通学先（クロス集計）



かかりつけの医療施設

- 「土浦市」が51.1%で過半数、ついで「市内」が26.8%であった。
- 年齢層が上がるにつれて「市内」の割合が高くなる傾向にあった。
- 医療施設について、霞ヶ浦地区では土浦市を多く利用しており、千代田地区では市内や土浦市のほか、石岡市の施設も利用している。

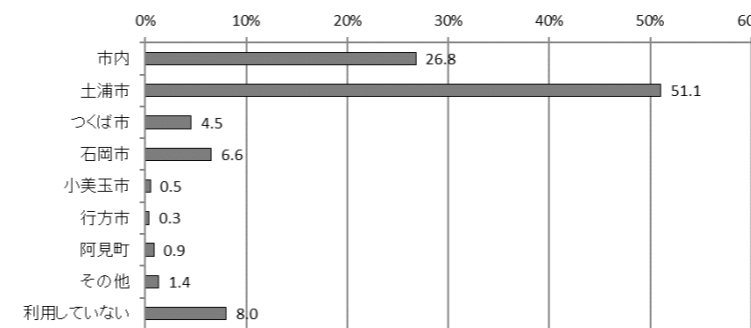
よく行く福祉施設

- 7割が利用していないと答えている。よく行く福祉施設については、「市内」が20.0%であった。
- 具体的なよく行く福祉施設として「あじさい館」や「やまゆり館」が上位に挙げられている。

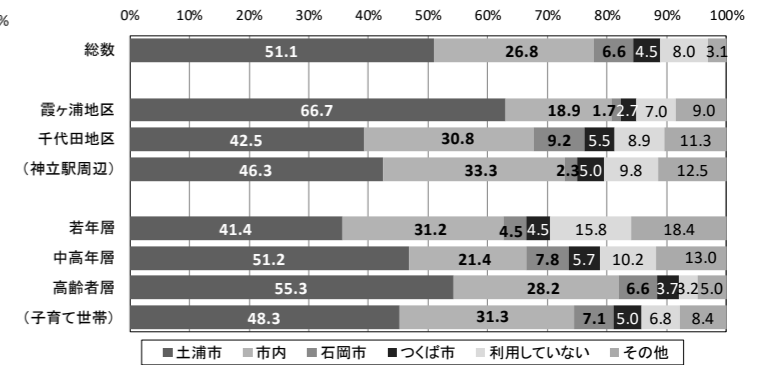
医療施設や福祉施設への移手段

- 「自家用車（家族などによる送迎を含む）」が85.6%であった。
- 神立駅周辺では、「自転車」の利用が5.9%、「徒歩」が4.0%と高い傾向にあった。
- 医療施設や福祉施設までの所要施設は「10～20分未満」が32.3%、「20～30分未満」が31.1%であった。医療施設や福祉施設の徒歩圏は「5分～10分未満」が39.9%であった。

■かかりつけの医療施設の立地（単純集計）



■かかりつけの医療施設の立地（クロス集計）



最もよく利用する鉄道駅

- 「神立駅」が73.5%で最も高く、ついで「土浦駅」が15.3%であった。霞ヶ浦地区では3割程度が土浦駅を利用している。
- 鉄道駅までの交通手段は「自家用車（自分で運転）」が52.1%、ついで「徒歩」が20.1%であった。
- 神立駅周辺では、「徒歩」の利用が41.5%、「自転車」が6.0%と高い傾向にある。

最もよく利用する公園

- 「公園には行かない」と答えた人が最も多く、67.6%であった。次いで「市外」が16.8%、「市内」が15.6%だった。
- 地区別にみると、霞ヶ浦地区では「市外」よりも「市内」の利用が多い傾向にある。年齢層別では、若年層ほど「市外」の利用が多い傾向にある。
- 「市外」の公園に行く方は、「市内」の公園に行く方に比べて、緑の豊かさや遊具や子どもが遊べる器具などを重視している傾向にある。

日用品の買い物先

- 最もよく行く日用品の買い物先は「市内」が71.7%、「土浦市」が18.6%であった。
- 若年層ほど「土浦市」を選択している。また、霞ヶ浦地区では「石岡市」より「行方市」に買い物に行く傾向がある。
- 上位3位までのよく行く日用品の買い物先は「市内」と「土浦市」が8割前後であった。

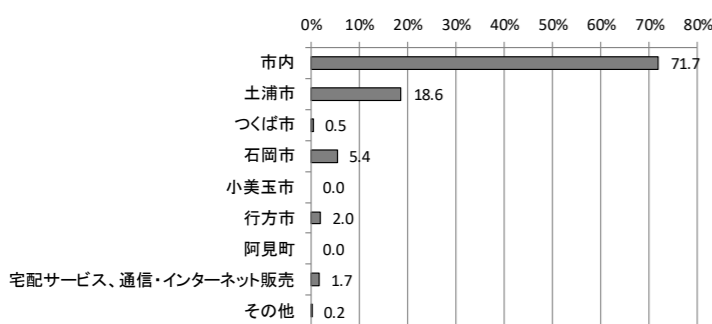
買回品の買い物先

- 最もよくいく買回品の買い物先は「土浦市」が38.4%で、次いで「市内」が37.2%であった。
- 年齢層が上がるにつれて「市内」の割合が高くなる傾向にある。
- 上位3位までのよくいく買回品の買い物先は、「土浦市」が73.7%、次いで「市内」が55.1%、「つくば市」が30.7%であった。

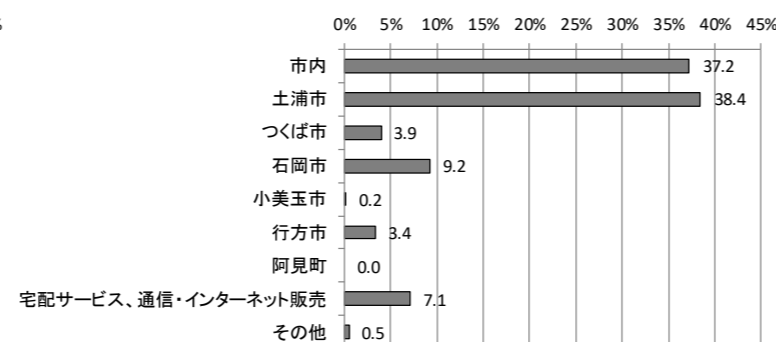
買い物先への移手段

- 買い物の際の交通手段は90.9%が「自家用車（家族などによる送迎を含む）」であった。
- 買い物先までの所要時間は「10分～20分」が32.4%でもっとも高く、買い物先の徒歩圏としては「5～10分未満」が40.1%でもっとも高かった。

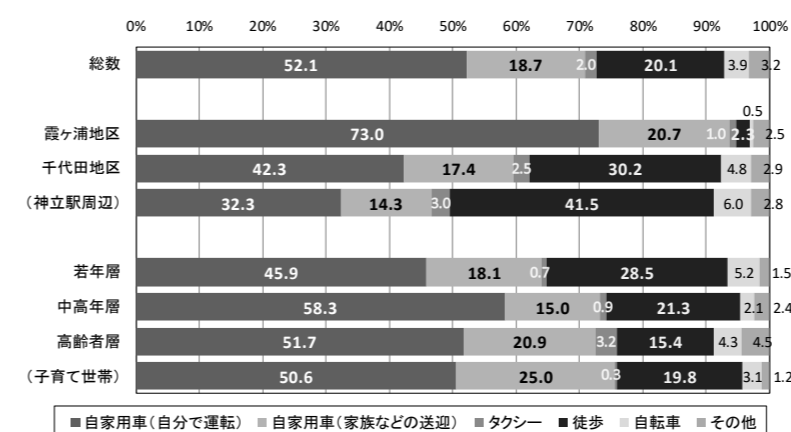
■最もよく行く日用品の買い物先（単純集計）



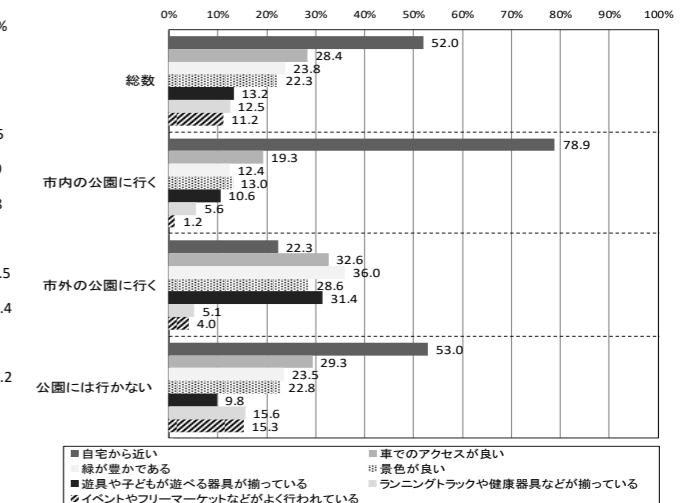
■最もよく行く日用品以外の買い物先（単純集計）



■最もよく利用する鉄道駅までの移手段（クロス集計）



■公園に行く要因（複数回答・クロス集計）



(2) お住まいの地区の状況

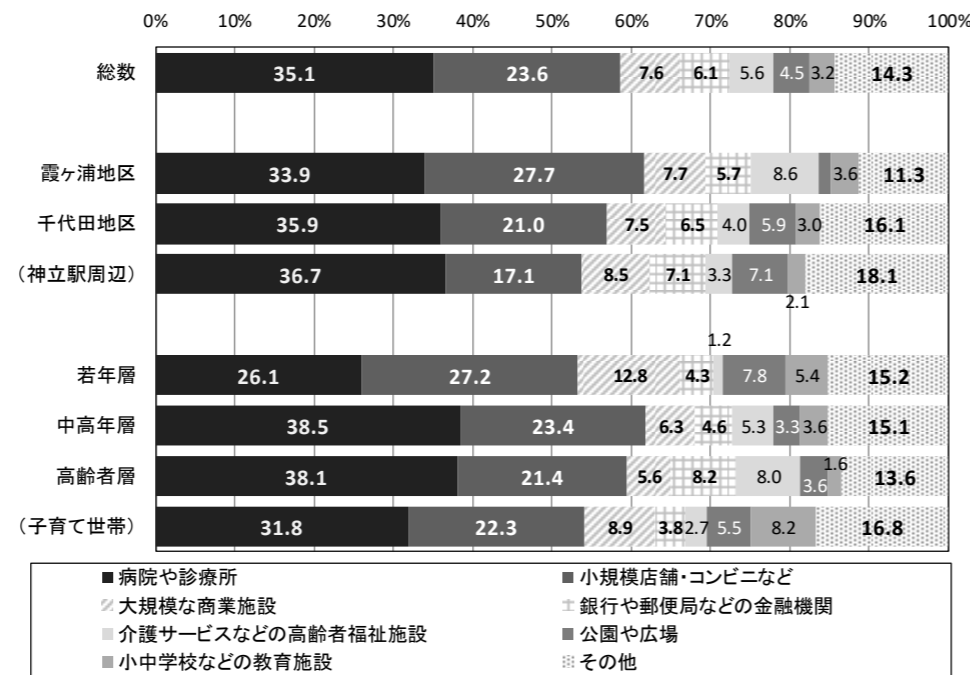
生活環境の重要度・満足度

- 生活環境の満足度では、「上水道の整備」、「下水道の整備」、「自動車の利用しやすさ」などインフラの整備については満足度が高い一方で、「路線バスの運行本数」、「路線バスのルート」と路線バスについては満足度が低い傾向にある。
- 生活環境の重要度では、「まちの防犯対策」、「交通安全対策」、「自然災害に対する防災対策」と安心・安全について重要視されている。
- 重要度が高く・満足度が低い「重点改善項目」には6項目が概要している。重点改善項目のうち、「空き家などの管理及び抑制対策」は重要度が高く・もっとも満足度が低い。
- 重要度が高く・満足がやや低くものは、「まちの防犯対策」、「交通安全対策」、「病院など医療福祉施設の立地」、「騒音、悪臭などの公害対策」、「生活道路の整備」であった。

お住まいの地区で必要な施設

- 最も必要な施設は、「病院」が**33.9%**、ついで「小規模店舗・コンビニなど」が27.7%、「大規模な商業施設」が7.6%であった。
- 居住地別においては、霞ヶ浦地区の3位に「介護サービスなどの高齢者福祉施設」が挙がっている。また、年齢層別では高齢者層の3位に「銀行や郵便局などの金融機関」が挙がっている。
- 3位までを含めると、「病院」、「小規模店舗・コンビニなど」、「銀行や郵便局などの金融機関」、「公園や広場」、「大規模な商業施設」の順であった。

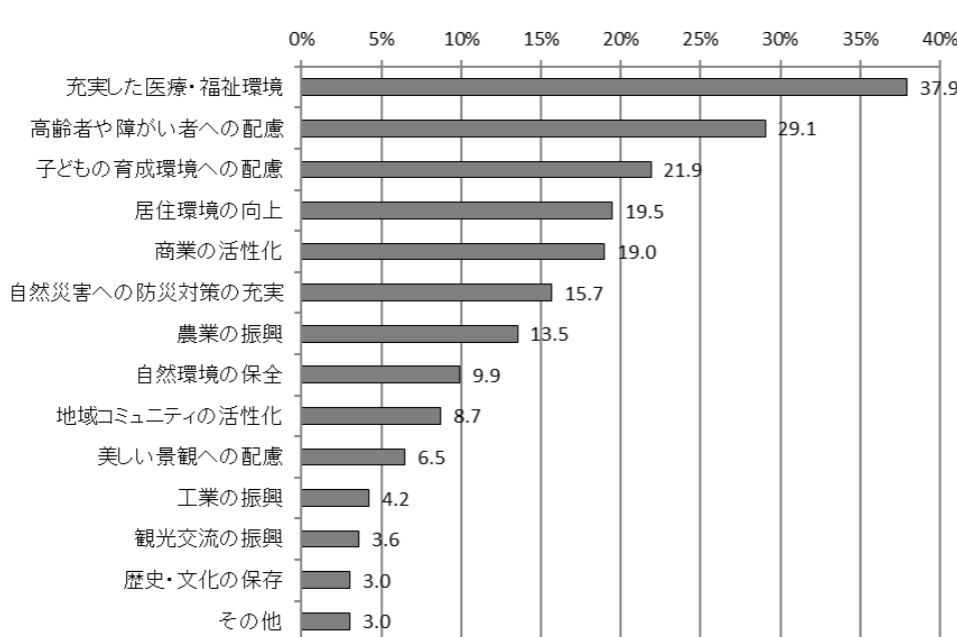
■居住地区で最も必要な施設（クロス集計）



お住まいの地区で必要な取組み

- 「充実した医療・福祉環境」が**37.9%**、「高齢者や障がい者への配慮」が29.1%、「子どもの育成環境への配慮」が21.9%、「居住環境の向上」が19.5%、「商業の活性化」が19.0%の順となっている。
- 若年層では、「子どもの育成環境への配慮」、「充実した医療・福祉環境」、「商業の活性化」の順であった。

■居住地区で将来のまちづくりに最も必要なこと（複数回答・単純集計）

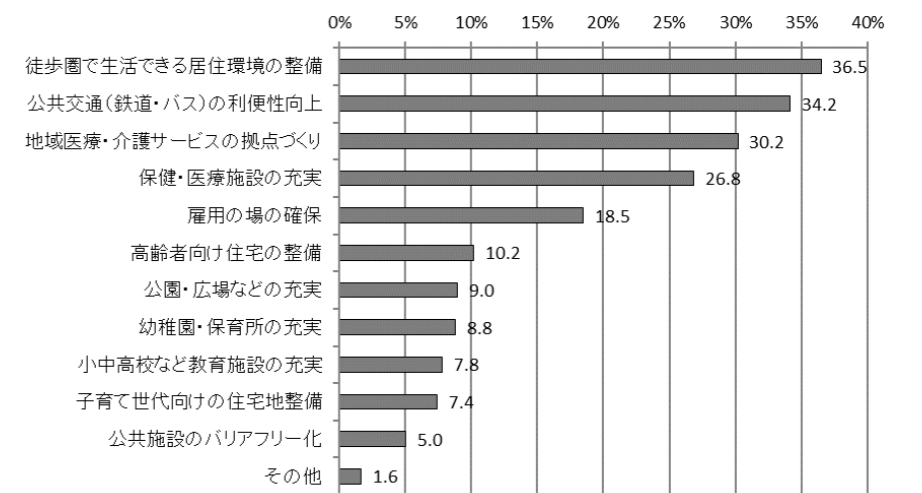


(3) かすみがうら市のまちづくりや都市構造

高齢者や子育て世帯にとって暮らしやすいまちであるために取り組むべき施策

- 「徒歩圏で生活できる居住環境の整備」が**36.5%**で最も高く、次いで「公共交通（鉄道・バス）の利便性向上」が34.2%、「地域医療・介護サービスの拠点づくり」が30.2%、「保健・医療施設の充実」が26.8%、「雇用の場の確保」が18.5%の順となっている。

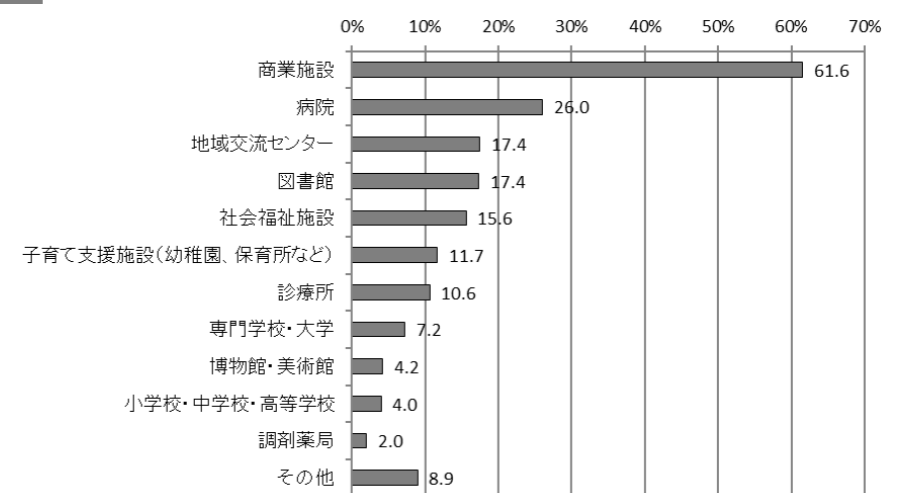
■本市が取り組むべき施策（複数回答・単純集計）



神立駅周辺に充実させたほうがよい施設

- JR 神立駅周辺において充実させたほうがよいと考える都市機能については、「商業施設」が**61.6%**と過半数を占め、次いで「病院」が26.0%、「地域交流センター」が17.4%、「図書館」が17.4%、「社会福祉施設」が15.6%、の順となっている。
- 神立駅周辺では、「図書館」が**第2位**にあがっている。

■神立駅周辺に充実させたほうがよい都市機能（複数回答・単純集計）



かすみがうら市に求めるまちのイメージ

- 「保健や医療・福祉が充実し安心して暮らせるまち」が**66.1%**で最も高く、次いで「防災や防犯体制が整った安全なまち」が29.5%、「産業の振興による活気のあるまち」が24.3%の順となっている。
- 地区別では、市全体と大きな差はみられなかった。
- 年齢層別にみると、若年層の第3位及び子育て世帯の第2位に「幼児教育・学校教育・生涯教育など教育環境が整ったまち」が挙げられている。

■かすみがうら市の将来イメージ（複数回答・単純集計）

